

平成29年度第2回半田市図書館協議会会議録

日時：平成30年1月30日（火）午後2時00分

場所：半田市立図書館 第3会議室

出席者

【協議会委員】

前田佳男、近藤貴美子、石川哲也、光岡誠二、後藤千恵子、畑野園江、田上幸子、石川幸子、
榊原伯明（欠席 榊原かおる）＊敬称略

【事務局】

教育長、教育部長、図書館長 古田敏之、亀崎図書館長 早川直樹、副主幹 戸田豊志
田村元成、主査 榊原智子

館長：ただ今から平成29年度第2回図書館協議会を開催いたします。

【教育長挨拶】

お忙しい中、ご出席をいただき、ありがとうございます。委員のみなさまのご助言のおかげで「子ども読書活動推進計画」の成果も上がってきております。最近では、中学校でも地域の方々の協力による「読み聞かせ」が実施されており、ありがたいことだと思っております。

29年度の「全国学力学習状況調査」の結果が夏ごろに発表され「読書が好き」や「読書の時間」に関する項目において半田市は、全国や愛知県の平均値を上回る結果が出ています。

また、読書が好きな子どもに、どうして好きなのかと尋ねたところ「本を読むと驚くことがいっぱいあるし、迷いながら本を選ぶことも楽しいから」という答えが返ってきました。読書は、新しい学習指導要領で取り入れられるアクティブラーニングにも通じるところがあり、主体的、対話的な学習であると思います。本日は、忌憚のないご意見をお願いいたします。

<平成29年度図書館利用状況等について>

館長：それでは会議の進行を前田会長にお願いしたいと思います。

会長：では、次第に従って議事に入ります。平成29年度図書館利用状況等についてお願いいたします。

事務局：平成29年度12月末までの図書館利用状況等について、前年度の同じ期間と比較して報告いたします。

開館日数は同じですが、入館者、貸出者数、貸出冊数のほか学習室の利用人数も減少しています。ただし、登録者数が増えています。これは、今年度に試行でスタートした保健センターでの「あかちゃんとしょかん」事業で、希望される母子に貸出券の発行を行ったためです。

利用の減少については、情報を得る手段が本からスマートフォンやインターネットなどに推移したためやエントランスの耐震工事が影響していると思われます。

<平成29年度本館主要事業について>

事務局：次に29年度の主な事業について説明いたします。（資料1～5ページ参照）

試行の事業になりますが、「あかちゃんとしょかん」は、保健センターの3ヶ月健診時に、職員とボランティアが出向いて読み聞かせの意義を伝えたり、読み聞かせの実演や絵本の貸出をするものです。平成30年度から正規の図書館事業として実施します。現在この事業に協力してくださるボランティアを募集中です。

次に、これまできりんの会で行っていただいていたブックトークを今年度より、きりんの会から分かれたボランティアグループの「えほんポスト」のみなさんが引き継いで行っています。

また、長年にわたり「よしじいのむかしばなし」で、手づくり紙芝居の上演を行っていた、三井由市さんが昨年12月で活動を終了されました。本館の事業については以上です。

<平成29年度亀崎図書館主要事業について>

早川館長：亀崎図書館の平成29年度の主な活動について報告をいたします。

昨年度から実施しています音読教室は、今年度は回数を3回に増やしました。人気の行事となっています。

新規事業として、きりんの会のみなさんに講師をお願いし「お菓子作りと絵本の読み聞かせ」というイベントを実施しました。絵本の「ぐりとぐら」の読み聞かせを聴き、そのお話に出てくるカステラを実際に参加者で作って食べるというものです。参加してくれた子どもたちも満足していただけたと思います。

亀崎としょかんまつりでは、半田市制 80 周年記念の企画として亀崎出身の絵本作家である間瀬なおかた先生の作品の原画展を開催しました。昨年度よりも多くの方にご来場いただきました。今年度もボランティア用の駐車場を増やしたり、フェイスブックによるPRを始めるなどし、集客に努めました。

会長：説明が終わりましたが、ご意見、ご質問などありましたらお願いします。ないので、次に進めていきます。

<平成30年度本館活動予定について>

事務局：平成30年度の本館の活動予定について報告をいたします。（6ページから9ページ参照）

「動物保護を学ぶ、いのちの講座」や、セントラル愛知交響楽団による「ファミリーコンサート」などこれまで好評だった事業を来年度も実施します。

館長：「あかちゃんとしょかん」事業について補足いたします。

以前、議会で「ブックスタート事業」の実施について質問がありました。半田市としては、赤ちゃんが絵本とふれ合う機会を増やそうということで、今年度試行という形でこの事業を始めました。かなり手応えがありましたので、来年度以降正式な事業として実施していきます。委員：あんころもち（ボランティア）としてこの事業に参加しています。健診の後、すぐに帰

って行かれる方もみえますが、読み聞かせを喜んでくださるお母さんもいて、とてもよい事業だと思います。

館長：読み聞かせのときに絵本の貸出も行っていますが、返却に市内のブックポストではなく図書館まで返しにみえる方も多いです。

会長：お母さんが外に出かけるきっかけになるかもしれません。

<平成30年度予算について>

会長：次に、30年度の予算概要について報告をお願いします。

事務局：30年度の予算概要について報告します。（資料10ページ参照）

新規の予算としては「あかちゃんとしょかん」事業に関するものと、国会図書館の蔵書などをインターネットで閲覧し、プリントするためのプリンターの予算を計上しています。以上です。

会長：他に何かご意見はございませんか。

委員：3点申し上げたいことがあります。

ある図書館で、「外国語の絵本を読む時間」という行事を行っていました。外国（中国）の方が、中国語で絵本を読みきかせした後、文化の違いなどの説明をされていました。国際化の時代にあったよい企画だと感じました。

2点目ですが、子どもたちが、多くの本の中から自分に合った本を探すことは難しく、軽いものや、流行のものを選びがちで、偏った読書をしています。ブックトークを始め、いろいろなアプローチで子どもに本の紹介をすることが急務です。

また、学校に掲示してある図書館だよりなどは、見る子もいれば、見ない子もいるので先生から子どもに本の題名だけでも紹介してほしいです。

中学校でのブックトークは2校しか行われていませんが、もっと多くの学校に広がれば、子どもが素敵な本に出会う機会が増えると思います。

3点目です。ニュース報道ですが、中高校生のリーディングスキル（読解力）をテストしたところとても正答率が低かったということでした。このことから、もっと読書の大切さをPRしなければいけないと感じました。以上です。

会長：中学校での読み聞かせの状況はどうか。

教育長：学校支援協議会という、地域の方が先生をサポートする組織があり、成岩中学校では、この会による読み聞かせが行われています。

委員：絵本とかも読むのですか。

委員：絵本は、大人が読んでも楽しめるものです。

会長：最近では読書が軽視されているように思います。読書は勉強以外の大切なことも教えてくれるものです。

委員：読書は、子どもたちに生きる力を与えてくれます。

会長：ほかに何かありませんか。

委員：図書館だよりは、学校でコピーしてもよろしいですか。

事務局：問題ありません。

委員：新刊図書は何冊くらい入るのですか、また、いろいろな新しい本と出会えるような工夫ができないものでしょうか。

事務局：年間2万冊くらいです。新刊の案内については、紙のリストは出していないのでホームページから見ていただくか、館内のOPACで新刊図書を検索していただいています。

また、閉架にある古い本などを中身がわからないように包装して貸出す「本の福袋」という企画があり、ふだんは手にとらないような分野の本と出会う機会になっていると思います。

委員：としょかんまつりのリサイクル本は、どのくらい出しているのですか。

事務局：約3,500冊を準備しました。そのうちの7割を配布しました。

教育長：来年度の「お仕事ファイル」の講師は決まっていますか。

事務局：1回目は、サッカー選手が講師です。その他はまだ決まっていません。

教育長：すぐに満席になってしまうのですか。

事務局：講師にもよりますが、そういう場合もあります。

教育長：もっと大きな会場で行ったらよいのではないですか。

館長：視聴覚室は、座席が階段状になっており会場としてよい形状なのです。

教育長：キャリア教育の実践という点からも、とてもよい企画だと思います。

館長：先日開催された「こども議会」についての報告です。参加した子どもさんから「自分の家から図書館が遠いので近くに新しい図書館を作ってほしい」という意見が出ました。子どもの素直な意見を聞くことができ、よかったです。

教育部長：図書館にある自分の借りたい本を、身近な学校図書館などで借りられないかという意見が出ました。

館長：耐震工事は2月いっぱい終了し、3月からは通常通り開館します。

事務局：3月に一般向けの講座として「郷土資料を楽しもう」を開催します。興味がおありでしたら、ご参加ください。

会長：本日はこれで終了いたします。

館長：ありがとうございました。

(会議終了 午後3時7分)